

# 教育学部造形芸術系コースにおける留学について

留学を考えている人は、まずチューターに「留学意欲があること」や「留学したい期間」を伝えてください

※留学しやすいタイミングは、留学先で学びたいこと、免許、資格の取得希望状況、領域分け後に取り組む卒業研究の内容などによって異なります。特に造形芸術系コースでは、実習系の授業(1単位)が多いことから、履修計画や留学の検討を進めるにあたって、チューター、または指導教員とよく相談をしてください。

## 在学中の留学実績 (過去の事例)

時期：1年次前期と後期の間、1～2ヶ月

留学内容：主に協定等に基づく派遣留学（語学・文化研修等）

派遣先：大学名、国名、プログラム名等

- ・ロビーラ・イ・ビルジリ大学、**スペイン**、Study Abroad Program
- ・グルノーブル・アルプ大学、**フランス**、Campus France短期フランス語留学プログラム
- ・チュラーロンコーン大学、**タイ**、STARTプログラム
- ・オークランド大学、**ニュージーランド**、STARTプログラム
- ・フリンダース大学、**オーストラリア**、STARTプログラム
- ・ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学、**ベトナム**、STARTプログラム
- ・ニューサウスウェールズ大学、**オーストラリア**、シドニー異文化体験ツアー
- ・ハワイ大学、**アメリカ合衆国**、English Plus ALOHAプログラム

## 卒業後の留学実績 (2020年度卒業生の例)

時期：卒業後3年間

行先：アメリカ合衆国

(Grand Central Atelier, NY)

留学内容：

絵画について専門的に学び、  
ニューヨークで個展も開催

「留学実績」は、全て2024年7月時点の情報です

1年次前期

1年次後期

2年次前期

2年次後期

3年次前期

3年次後期

4年次前期

4年次後期

教養教育科目

専門教育科目 (太字は必修科目)

・ 絵画表現実習基礎  
・ 彫刻表現実習基礎  
・ デザイン表現実習基礎  
ほか

・ 芸術教育学概論  
・ 絵画表現論  
・ 造形芸術基礎論  
ほか

・ 彫刻表現論  
・ デザイン概論  
・ 工芸表現実習基礎  
ほか

・ 生涯活動教育論  
・ 美術科教育方法・評価論  
・ 工芸表現論  
ほか

・ 絵画表現実習Ⅱ  
・ 工芸教育素材研究Ⅰ  
・ 美術科授業プランニング  
演習 ほか

領域分け ← (※1) 教育実習 (中・高免取得希望者) → (※2) 教育実習 (高免のみ取得希望者) → 卒業研究 (ゼミ (※)) → 卒展・論文発表会 ●

・ 芸術教育教材・構成論  
・ 彫刻表現総合演習  
・ C G 基礎演習  
ほか

・ 美術科教育指導者論  
・ 平面デザイン教育演習  
ほか

・ 絵画表現研究  
・ 工芸表現演習  
・ 造形芸術学演習  
ほか

### 〈留意点〉

- ・ 教員免許取得のための、教育実習に係る科目は1年次からあります (本実習は、中学・高校免許取得希望者が3年次2Tと3Tの間 (※1)、高校免許のみ取得希望者が4年次1T (※2) の予定です)
  - ・ 学芸員資格取得を希望する場合、3年次後期および4年次 (時期は実習先によって異なる) に実習科目があります
- ※領域分け後、絵画、彫刻、デザイン、工芸のゼミでは、作品制作に多くの時間が必要となります